

日本ルーラルナーシング学会

Japan Society of Rural and Remote Area Nursing

日本におけるルーラルナーシングの構築をめざして



テーマ 辺境の地に息づく地域ケア



日本ルーラルナーシング学会第15回学術集会



ルーラルナーシングとは、保健医療の面からみた遠隔地（過疎地域・豪雪地帯・山村・離島等）以下、へき地）の、いわゆる保健医療や福祉にアクセスしにくい地域や住民を対象に行う看護活動を指します。へき地で活動する看護職は、プライマリケアを担う真のジェネラリストとして、総合的に幅広い知識を要すると言われています。

日本ルーラルナーシング学会は、へき地、へき地を含む地域の中核病院・保健所に勤務する看護職を支援する組織として、へき地看護の人材育成やへき地における看護実践者の生涯学習に還元することを意図して設立されました。へき地で活動する看護職同士でつながり、日頃の実践を共有しませんか。

事業内容

- 学術集会・総会の開催
- エクスカージョンの開催
- 「日本ルーラルナーシング学会誌」の刊行
- メーリングリストを用いた情報発信



←過去の学術集会やエクスカージョンはこちらから



←過去の学会誌の目次はこちらから

入会案内

<http://www.jasrun.org/admission.html>

